

早わかりガイドブック

ご使用になる前に必ずお読みください。

SOLTEERRA



SUBARU

1 EV システム

2 充電について

3 知っておいていただきたいこと

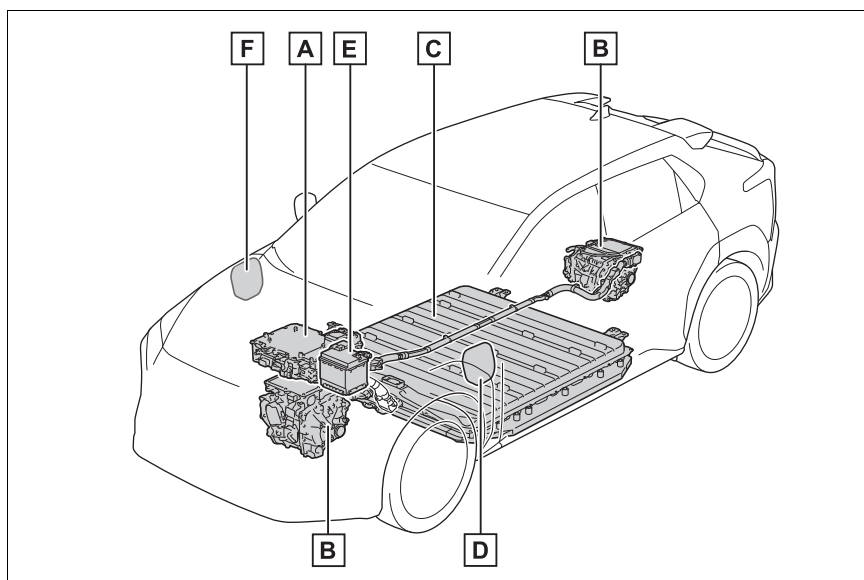
本書では、EV システムに関する操作や充電方法、注意事項について記載しています。

車両全体の取り扱い方法や注意事項などは、必ず別冊「SOLTERRA 取扱説明書」を参照してください。

EV システムの特徴

電気自動車は、従来の車両とは大きく異なります。駆動用電池に充電された電気で電気モーターを駆動させることで、走行します。電気自動車は電気を使用して走行するため、CO₂（二酸化炭素）や、NOx（窒素酸化物）などを排出せず、環境に優しい自動車です。

システムの構成部品



イラストは説明のための例であり、実際とは異なります

- A** ESU : Electricity Supply Unit（車載充電器・DC / DC コンバーター内蔵）
- B** eAxle（イーアクスル）（駆動モーター／インバーター／トランスアクスル）（フロント／リヤ★）
- C** 駆動用電池
電気モーターに電気を供給します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

D 急速充電ポート

E 補機バッテリー

SRS エアバッグ、ヘッドライト、ワイパーなどのさまざまなシステムに電力を供給します。

F 普通充電ポート

充電について

この車は、次の方法で駆動用電池を充電することができます。

■ 普通充電

AC コンセントと普通充電ケーブル、または普通充電器（スタンド）などで行う充電方法です。タイマー充電を設定することで、ご希望の日時に充電を行うことも可能です。

■ 急速充電

CHAdeMO（チャデモ）※ 規格に準拠した急速充電器（スタンド）を使用して行う充電方法です。普通充電にくらべて短時間で駆動用電池を充電できます。

※ CHAdeMO は一般社団法人チャデモ協議会が提案する商標名です。

■ V2H

車両と V2H 機器双方向に電源供給することを「V2H（ヴィーツーエッチ）」といいます。V2H 機器から車両へ充電を行うことを「V2H 充電」、V2H 機器を経由して車両から自宅へ電源供給することを「V2H 給電」といいます。

詳細は、車両の取扱説明書を参照してください。

■ ソーラー充電システム★

駐車中、車両のルーフに搭載されたソーラーパネルで発電した電力を駆動用電池に蓄えることができる、充電補助システムです。

詳細は、車両の取扱説明書を参照してください。

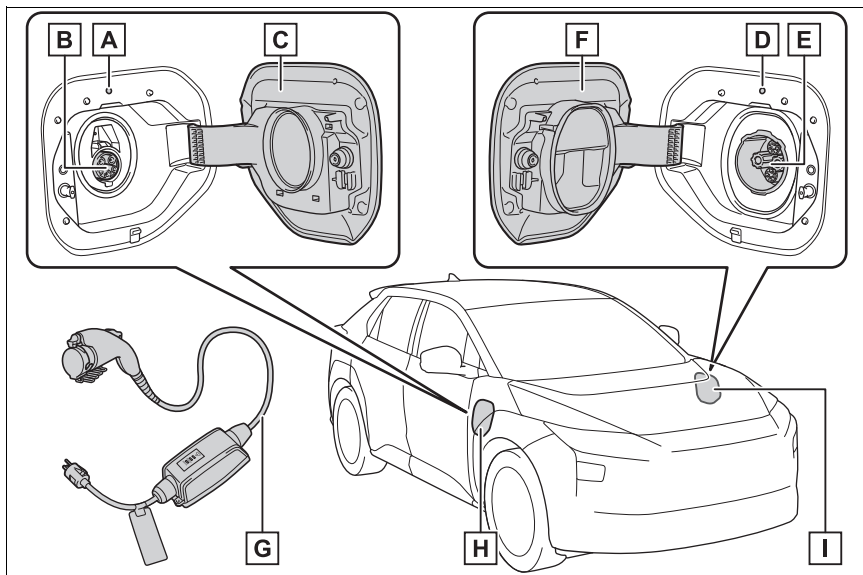
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両接近通報装置

走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で通報音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。

充電に関する装備について

充電装備と名称



A 充電インジケータおよび普通充電インレット照明

B 普通充電インレット

C 普通充電リッド

D 急速充電インレット照明

E 急速充電インレット

F 急速充電リッド

G 普通充電ケーブル

H 普通充電ポート

I 急速充電ポート

充電リッドの開閉

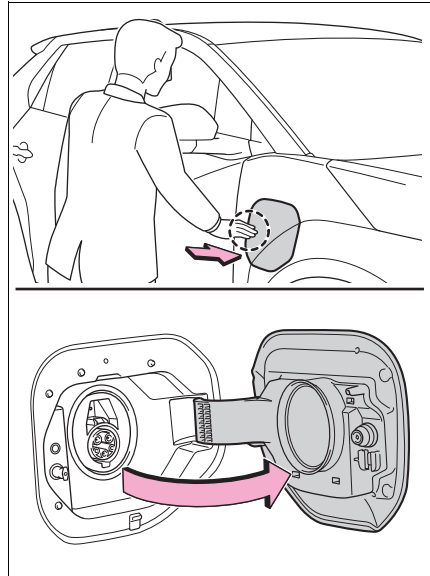
普通充電リッドと急速充電リッドの開閉操作は同様です。

■ 充電リッドの開け方

ドアを解錠することで、充電リッドをアンロックする。

充電リッドの車両後端（図に示す位置）を押し、充電リッドを開ける。

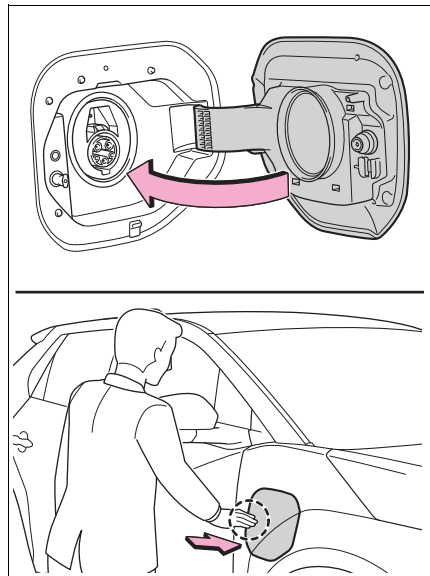
押して手を離すと、充電リッドが少し開きます。その後、手で全開にします。



■ 充電リッドの閉め方

充電リッドを閉め、充電リッドの車両後端（図に示す位置）を押す

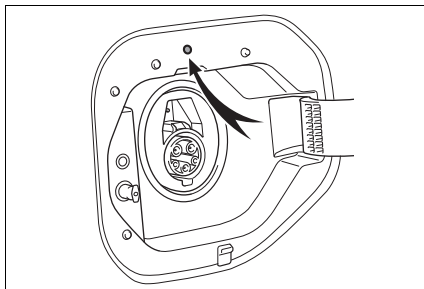
ドアを施錠すると、充電リッドもロックされます。



充電インジケータ

充電インジケータは、普通充電リッドにのみ搭載されています。

点灯・点滅パターンの変化により、次のように充電に関する状況をお知らせします。



点灯・点滅パターン	車両の状況
点灯	・ 充電中 ※¹ ・ AC 外部給電中 ※² ・ 駆動用電池ヒーターの作動中
点滅（通常） ※ ³	充電スケジュールが登録されている状態で、普通充電ケーブルを車両に接続したとき
速い点滅 ※ ³	電源または車両の異常などにより充電、または給電が停止したとき
遅い点滅 ※ ⁴	AC 外部給電 ※ ² の開始操作後の AC 外部給電準備中

※¹ 充電が終了したら、消灯します。

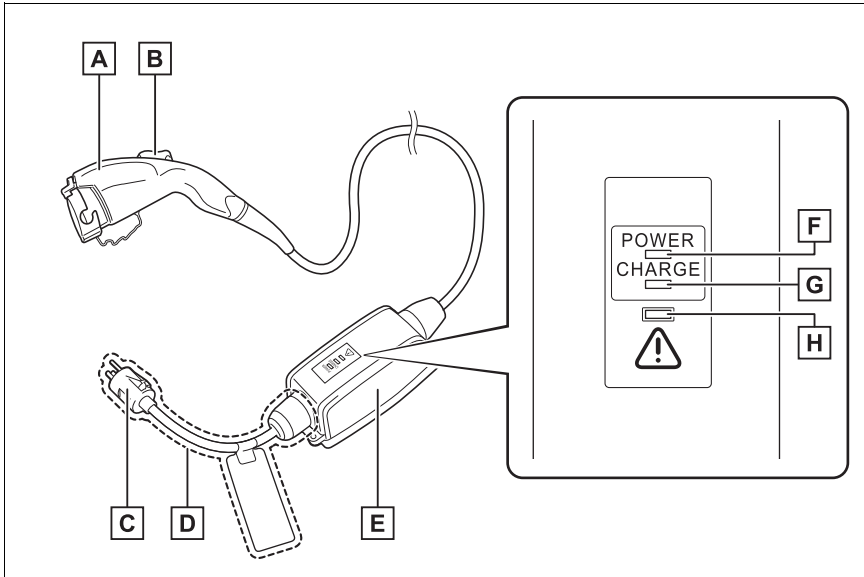
※² AC 外部給電システムについては、車両の取扱説明書を参照してください。

※³ 一定時間点滅したあと、消灯します。

※⁴ 一定時間点滅したあと、点灯します。

普通充電ケーブルについて

■ 各部の名称



- A** 普通充電コネクタ
- B** ロック解除ボタン
- C** 電源プラグ
- D** 電源プラグコード※
- E** コントロールユニット
- F** 電源インジケータ
- G** 充電インジケータ
- H** エラーインジケータ

※ 接続する電源電圧（200V または 100V）に合わせて、電源プラグコードを交換する必要があります。

■ 安全機能について

普通充電ケーブルに取り付けられているコントロールユニットは、次のような安全機能を備えています。

● 漏電検知機能

充電中に漏電を検知すると、自動的に電気を遮断し、漏電による感電や火災などを未然に防ぎます。

漏電検知機能により電気が遮断された場合は、エラーインジケーターが点滅します。

● 自動チェック機能

漏電検知機能の作動に問題がないか、充電開始前に自動でシステムチェックが実施されます。

● 温度検知機能

電源プラグに温度検知機能が搭載されており、充電中、コンセント側のゆるみなどにより電源プラグ部が発熱した場合に、充電電流を制御することで発熱を抑制します。

● 車両との通電の条件

電源プラグがコンセントに挿してあっても、普通充電コネクタが車両に接続されていないと、普通充電コネクタに通電されない構造になっています。

知識

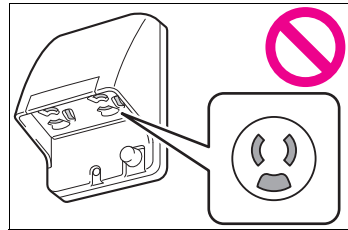
■ 安全機能について

- 車両に充電ケーブルが接続されているときは、パワースイッチを操作しても EV システムを始動することはできません。
- READY インジケーターが点灯しているときに充電ケーブルを接続すると、EV システムは自動的に停止し、走行できなくなります。

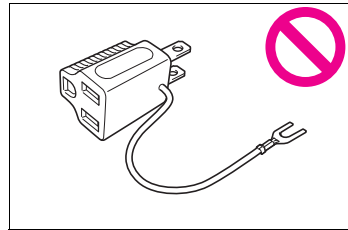
警告**■電源についての警告**

充電時に使用する外部電源については、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、思わぬ事故の原因となり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

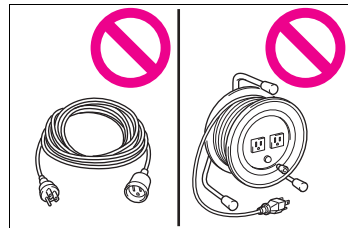
- 安全のため、必ず接地極（アース）付きのコンセントに接続してください。
- 必ずブレーカーおよび漏電遮断器が設置されたコンセントを使用してください。
ブレーカーがないと、ショートなど異常時の過電流に対して安全を確保できません。
- 抜止形のコンセントは耐久性が十分ではない場合があるため、充電用コンセントとしては常用しないでください。



- コンセントと電源プラグは、必ず直接接続してください。
コンセントとのあいだに分岐アダプターを接続したり、変換アダプターなどを接続したりしないでください。

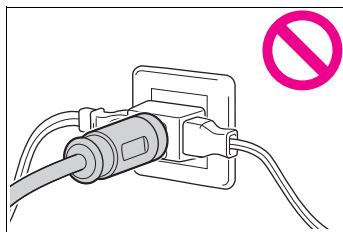


- 必ず普通充電ケーブルで届く範囲のコンセントに接続し、延長コードは使用しないでください。
延長コードを使用すると、異常発熱や漏電検知機能が働かなくなるなどの原因になります。



⚠ 警告

- 分岐用コンセントには接続しないでください。



普通充電コネクターのロック・アンロック

普通充電中の充電コネクターの取り外しや、第三者による充電ケーブルの持ち去りなど、いたずらの防止に寄与することができます。

普通充電コネクタは、普通充電インレットに挿し込んだ状態において、ドアの施錠状態・解錠状態に連動してロック・アンロックされます。

普通充電コネクタをロック・アンロックするには

普通充電コネクタは、普通充電インレットに挿し込んだ状態において、ドアの施錠状態・解錠状態に連動してロック・アンロックされます。

■ ロックするときは

普通充電インレットに普通充電コネクタを挿し込んだ状態で、ドアを施錠すると、普通充電コネクタがロックされます。ドアが施錠されている状態で、普通充電コネクタを挿し込んだ場合は、自動的にロックされます。

■ アンロックするときは

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンなどでドアの解錠操作をすると、普通充電コネクタがアンロックされます。

充電の前に知っておいていただきたいこと

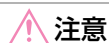


警告

■ 充電に関する留意事項

この車は一般家庭用の AC コンセントに接続して駆動用電池を充電できます。ただし、一般的な電気製品と次の点が大きく異なるため、取り扱いを誤ると火災や感電事故が発生し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 200V での普通充電時は、長時間にわたって大電流が流れる
- お客様の充電環境によっては、充電作業が屋外で行われる



注意

■ 充電に関する留意事項

充電作業は、本書で説明している内容をよくお読みいただいた上で、正しい手順に沿って行ってください。

- お子さまなど、不慣れな方だけで充電作業を行わないでください。また、普通充電ケーブルは幼児の手の届かない場所で保管してください。
- 充電器（スタンド）または、V2H 機器で充電する場合は、機器の使用手順に従って作業を行ってください。

 知識**■ 公共の普通充電器（スタンド）で充電する場合は、タイマー充電の設定状態を確認してください。**

- 充電スケジュールが登録されているときは一時的に OFF にするか、“今すぐ充電”を ON にしてください。
- 充電スケジュールが ON になっていると、普通充電ケーブルを接続しても充電が開始されません。また、充電が開始しなくても、普通充電ケーブルを接続したことで課金される場合があります。

充電前の重要確認事項

必ず次の点をご確認ください。

- パーキングブレーキが確実にかかっていること
- パワースイッチが OFF になっていること
- ヘッドランプ、非常点滅灯・室内灯などのランプ類が消灯していること
ランプ類が点灯していると、それらの機器に電力が消費され、充電時間が長くなります。

普通充電のしかた

注意

■ 普通充電関連部品を取り扱うとき

普通充電関連部品の損傷を防ぐため、取り扱いの際は次のことをお守りください。

- 充電を中断・終了するときは、電源プラグを抜く前に普通充電コネクタを抜く。
- 普通充電ケーブルを抜くときは、普通充電コネクタがアンロックされていることを確認する。
- 普通充電コネクタの保護キャップを無理に引っ張らない。
- 充電中に普通充電コネクタを揺るなど振動を与えない。
充電を停止することがあります。
- 普通充電インレットに普通充電コネクタ・ヴィークルパワーコネクタ以外のものを挿し込まない。
- 電源プラグをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグ本体を持って操作する。
- ケーブルが引っかかったり、絡んだ状態から無理に引っ張らない。
絡んだ場合は、ほどいてから使用してください。
- 普通充電インレットの分解・修理・改造などをしない。修理が必要な場合は、必ず SUBARU 販売店にご相談ください。

充電するときは

- 1 普通充電ケーブルを用意する
- 2 普通充電ケーブルの電源プラグを外部電源のコンセントに挿し込む

必ず電源プラグ本体を持って、確実に奥まで挿し込んでください。

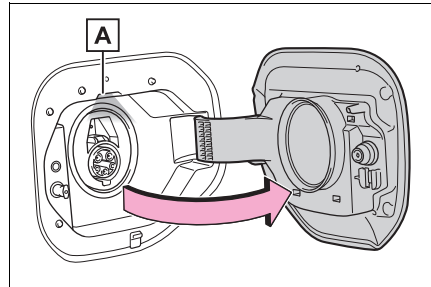
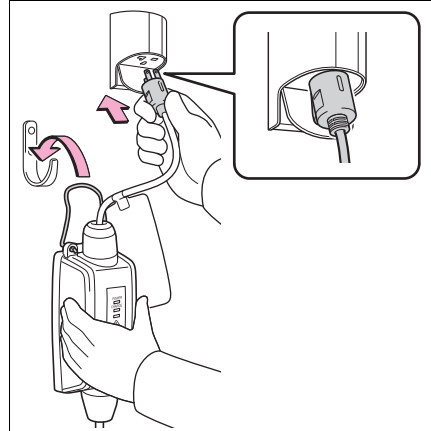
手元スイッチがある場合は、スイッチを ON にしてください。

コントロールユニット上の電源インジケータが点灯していることを確認してください。

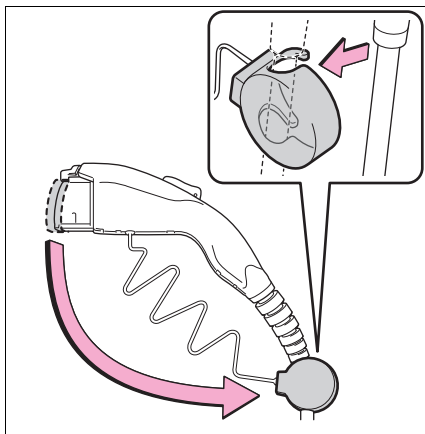
コンセントや電源プラグへの負荷を軽減するために、電源プラグを挿しているときは、ひもなどを使って、コントロールユニットをフック等に引っかけて使用してください。

- 3 車両のドアを解錠して、普通充電リッドを開ける

普通充電リッドを開けると、普通充電インレット照明 **A** が点灯します。



- 4 普通充電コネクターの保護キャップをはずし、ケーブルにかけて固定する



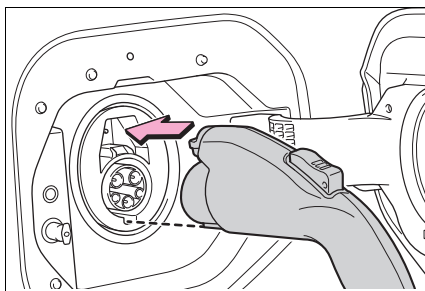
- 5 普通充電コネクターを普通充電インレットに挿し込む

普通充電コネクターの下側にあるガイドの位置を合わせて、まっすぐにいっぱいまで挿し込みます。

“カチッ” という音がして、普通充電コネクターが確実に接続されたことを確認してください。

ドアを施錠すると普通充電コネクターがロックされます。

ドアが施錠されている状態で、普通充電コネクターを挿し込んだ場合は、自動的にロックされます。

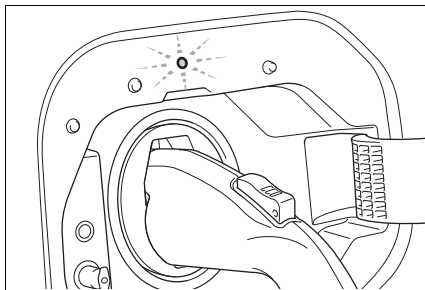


- 6 充電ポートの充電インジケータが点灯していることを確認する

充電インジケータが点灯していないときは、充電が開始されていません。

充電インジケータが通常の速さで点滅しているときは、充電スケジュールが登録されています。

充電が完了すると、充電インジケータが消灯します。



 知識

■ 充電中は

- 車両の状態により、充電が開始されるまでの時間が異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 充電中は、空調システムおよび駆動用電池冷却の作動にともない、駆動用電池付近から音が聞こえることがあります。
- コントロールユニットの表面が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電波の状況によっては、ラジオに雑音が入ることがあります。

■ 安全機能について

普通充電コネクタを普通充電インレットに挿し込んだ状態でも、ロック解除ボタンを押しているあいだは、充電が開始されません。

なお、充電中に数秒程度ロック解除ボタンを押し続けると充電が中止されます。充電を再開したいときは、いったん普通充電コネクタを抜いてから再度、普通充電コネクタを挿し直して、普通充電ポートの充電インジケータが点灯することを確認してください。

 警告**■ 充電するときの警告**

充電するときは、必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 必ず充電に必要な要件を満たす電源に接続する
- 充電前に普通充電ケーブル・電源プラグ・コンセントに変形・破損・水分・腐食・ほこり等の異物がないことを確認する
- 充電前に普通充電インレットに変形・破損・腐食・ほこり等の異物がないか、または雪・氷が付着していないことを確認する
付着している場合は、普通充電コネクタを接続する前にしっかりと取り除いてください。
- 挿し込みがゆるくなったコンセントは使用しない
- 過熱するおそれがあるため、普通充電ケーブルを束ねたり巻いたりした状態で充電しない
- 普通充電コネクタ・普通充電インレットの端子に金属製の鋭利なもの（針金など）でふれたり、手でふれたり、異物でショートさせたりしない
- 屋外では必ず防雨形コンセントを使用する
防雨スイッチプレートを実際に閉めてください。閉まらない場合は、新しいプレートに交換してください。
- 充電を中断するときは、普通充電器（スタンド）の取り扱い方法に従う
- 充電中に発熱・発煙・異臭・異音などを発見したときは、ただちに充電を中止する
- コンセントが水没または雪に埋もれている場合は、電源プラグは挿さない
- 雨や雪の中で充電を行うときは、ぬれた手で電源プラグの抜き差しを行わない。また、コンセントや電源プラグをぬらさない
- 落雷の可能性のある天候のときは充電を行わない
- 普通充電ケーブルをドアやバックドアで挟まない
- 普通充電ケーブルや電源プラグ・普通充電コネクタ・コントロールユニットを車両で踏まない

 警告

- 電源プラグはコンセントにいっぱいまで挿し込む
- 普通充電コネクターと普通充電インレットとのあいだに、変換アダプターを接続しない
- 必ず普通充電ケーブルで届く範囲のコンセントに接続し、延長コードは使用しない
- 普通充電システムを使用するときは、ボンネットを閉める
冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ファンなど回転部分にふれたり、近づいたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 普通充電ケーブルの接続後、どこかに巻き付いていないか確認する
- 普通充電ケーブルを接続しても、コントロールユニット上の電源インジケータが点灯しない場合は、すぐに普通充電ケーブルを取りはずしてください

■ 車載充電器について

モータールームに車載充電器があります。車載充電器については、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 充電時は高温になります。やけどをするおそれがあるため、ふれないでください。
- 分解・修理・改造しないでください。修理が必要な場合は、必ず SUBARU 販売店にご相談ください。

 注意**■ 充電時の注意**

普通充電インレットに電源プラグを挿し込まないでください。

普通充電インレットが故障するおそれがあります。

■ 自家用発電機の使用について

充電用電源に自家用発電機は使用しないでください。

安定した充電ができなかったり、電圧が足りず、充電が停止したりするおそれがあります。

充電が継続できる場合でも、モータールーム付近から音が聞こえることがあります。

■ 充電設備について

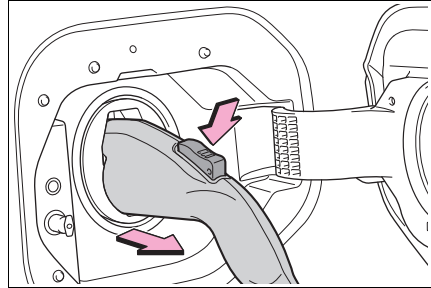
電力設備などが併設された環境では、ノイズにより安定した充電ができなかったり、電圧が足りず、充電が停止するおそれがあります。

充電したあとは

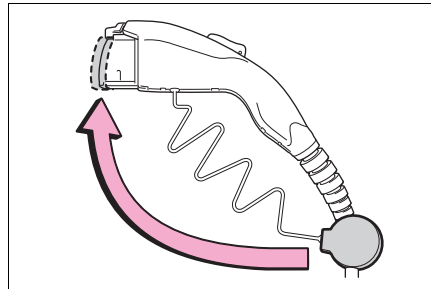
- 1** 車両のドアの解錠操作をして、普通充電コネクタをアンロックする
ドアの解錠操作をすると、普通充電インレット照明が点灯します。

- 2** ロック解除ボタンを押しながら手前に引いて、普通充電コネクタを取りはずす

充電中（充電インジケータの点灯中）にロック解除ボタンを押すと、充電が停止します。

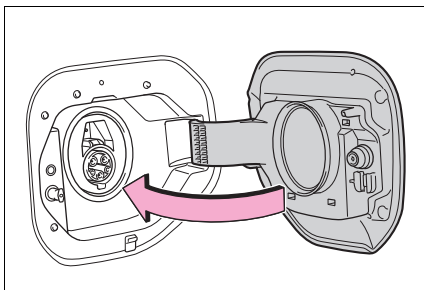


- 3** 普通充電コネクタの保護キャップを取り付ける



4 普通充電リッドを閉める

普通充電リッドをロックするときは、車両のドアを施錠します。

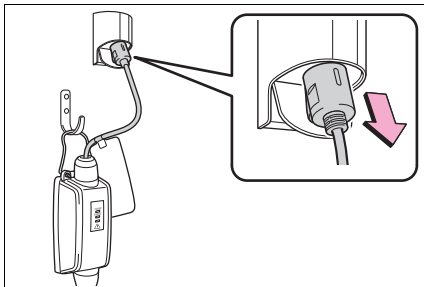


5 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜く

必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。

取りはずした普通充電ケーブルは、すみやかに片付けてください。

電源プラグを挿したままにすると、1ヶ月に1回は電源プラグに汚れやほこりがないか点検してください。



 警告**■ 充電後の警告**

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
電源プラグやコンセントにほこり等の汚れがたまると、故障や火災などが発生し、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意**■ 充電後の注意**

- 普通充電ケーブルは幼児やお子さまの手の届かない場所で保管してください。
- コンセントから電源プラグを取りはずしたあとは、普通充電ケーブルをほこりや水などがかからない安全な場所に保管してください。
普通充電ケーブルを足や車両で踏んだりすると、普通充電ケーブルや電源プラグが損傷する原因となります。
- 普通充電インレットから普通充電コネクターを取りはずしたあとは、必ず普通充電リッドを閉めてください。
普通充電リッドを開けたまま放置すると、普通充電インレットに水や異物が入り、車両故障につながるおそれがあります。

急速充電・V2H 充電／V2H 給電のしかた

警告

■急速充電器（スタンド）・V2H 機器を使用するとき

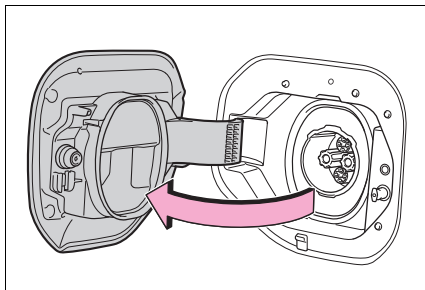
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- CHAdeMO 規格に準拠し、一般社団法人チャデモ協議会の認証を受けた急速充電器（スタンド）を使用してください。
- 電動自動車用充電システムガイドライン V2H DC 版に準拠し、一般社団法人チャデモ協議会の認証を受けた V2H 機器を使用してください。
- 30m をこえるケーブルを使用しないでください。

急速充電・V2H 充電／V2H 給電するときは

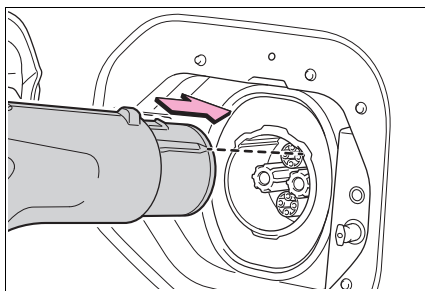
- 1 車両のドアを解錠して、急速充電リッドを開ける
- 2 急速充電リッド（車両の左側）を開けると、急速充電インレット照明が点灯します。



- 3 急速充電コネクタを急速充電インレットに挿し込む

“カチッ”という音がして、急速充電コネクタが確実に接続されたことを確認してください。

急速充電コネクタの形状や取り扱い方法などは、急速充電器（スタンド）・V2H 機器のタイプにより異なります。



急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従って、作業を行ってください

4 急速充電器（スタンド）・V2H 機器を操作して急速充電・V2H 充電／V2H 給電を開始する

具体的な開始方法については、急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従ってください。

システムチェックが実施されたあと、急速充電・V2H 充電／V2H 給電が開始されます。

急速充電・V2H 充電／V2H 給電を中断したいときは、急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従って、停止してください。

知識

■急速充電・V2H 充電／V2H 給電中は

- マルチインフォメーションディスプレイで、現在の充電状態を確認することができます。
ただし、V2H 充電中の充電時間は表示されません。
- 急速充電器（スタンド）での充電中、急速充電器（スタンド）に表示される充電時間と、実際の充電時間とは異なる場合があります。
- 急速充電中・V2H 充電／V2H 給電中は、ノイズの発生によりラジオが聞こえなくなる場合があります。
- 満充電に近づくると充電速度が低下して、充電完了までの時間が長くなります。
- 急速充電器（スタンド）の仕様により、満充電になる前に充電停止する場合があります。
- 駆動用電池の残量・外気温・充電器（スタンド）の仕様などの条件により、充電完了までの時間が変化する、または充電量上限まで到達する前に充電が停止する場合があります。
- 駆動用電池の容量の低下を防ぐため、ひんぱんな急速充電は避けることをおすすめします。
- 急速充電が終了したあとは、ほかの利用者のため、すみやかに急速充電スペースから移動してください。
- 寒冷時など、駆動用電池が冷えているときに急速充電・V2H 充電を行うと、モータールームから蒸気が出たり、ボンネットに結露ができたりします。駆動用電池の昇温時に発生した熱が雪や氷、霜を蒸発させるため、故障ではありません。
- 満充電時に充電量を補正しているため、駆動用電池残量が 100%を表示しない場合があります。
- 駆動用電池残量の上限設定がある V2H 機器では、車両の上限設定を解除してください。車両で設定した充電量上限まで到達する前に充電が停止する場合があります。

 警告**■急速充電・V2H 充電／V2H 給電するときの警告**

充電するときは、必ず次のことをお守りください。お守りいただかないと、思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 急速充電器（スタンド）・V2H 機器・急速充電インレットに破損箇所がないか確認する

急速充電インレットに破損箇所がある場合は絶対に急速充電・V2H 充電／V2H 給電を行わず、ただちに SUBARU 販売店で点検を受けてください。

- 急速充電コネクター・急速充電インレットの端子に手をふれたり、異物でショートさせたりしない
- 急速充電インレットに急速充電コネクター以外のものを挿し込まない
- 急速充電コネクター・急速充電インレットの端子に、金属製の鋭利なもの（針金や針など）でふれない
- ケーブルが折れ曲がったり、重いものの下敷きになったりしていないことを確認する

- 急速充電コネクターと急速充電インレットは、必ず直接接続する

急速充電コネクターと急速充電インレットとのあいだに、変換アダプターや延長コードなどを接続しないでください。

- 急速充電・V2H 充電／V2H 給電を中断するときは、急速充電器（スタンド）の取り扱い方法・V2H 機器に付属している取扱説明書に従う

急速充電中・V2H 充電／V2H 給電中に発熱・発煙・異音・異臭などを発見したときは、ただちに急速充電・V2H 充電／V2H 給電を中止してください。

- 急速充電コネクター・急速充電インレットに異物がないか、または、雪・氷が付着していないか確認する

付着している場合は、急速充電コネクターを接続する前にしっかりと取り除いてください。

 警告

- 落雷の可能性のある天候のときは急速充電・V2H 充電／V2H 給電を行わない
急速充電中・V2H 充電／V2H 給電中、雷に気付いたときは、車両およびケーブルにさわらないでください。

- 急速充電インレットの端子部が濡れないようにする

- 急速充電システムまたはV2H 充電／V2H 給電システムを使用するときは、ボンネットを閉める

冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ファンなど回転部分にふれたり、近づいたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ 急速充電コネクターを接続するとき

- 急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従って急速充電コネクターを接続してください。急速充電コネクターが正しく接続されていない場合、システムがコネクターの接続を認識できず、EV システムを始動できてしまうことがあります。

- 急速充電中・V2H 充電／V2H 給電中に、急速充電インレットから急速充電コネクターを取りはずさないでください。急速充電器（スタンド）・V2H 機器を操作して充電を停止した後、急速充電インレットから急速充電コネクターを取りはずしてください。

 注意**■ 急速充電・V2H 充電／V2H 給電するとき**

必ず急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従って、急速充電・V2H 充電／V2H 給電を行ってください。誤った取り扱いをすると、車両や急速充電器（スタンド）・V2H 機器などを損傷するおそれがあります。

急速充電・V2H 充電／V2H 給電したあとは

1 急速充電器（スタンド）・V2H 機器を操作して充電を停止する

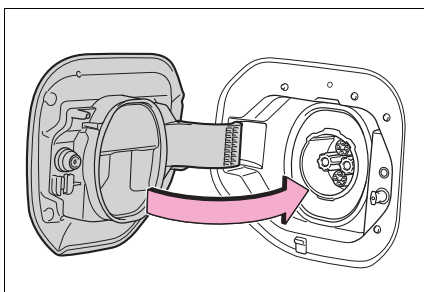
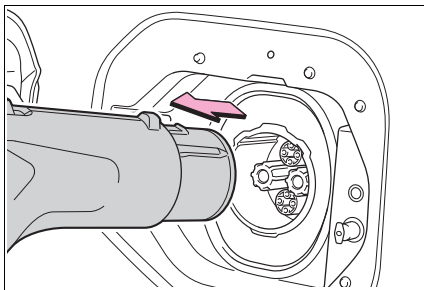
2 急速充電コネクターを取りはずす

急速充電コネクターの形状や取り扱い方法などは、急速充電器（スタンド）・V2H 機器のタイプにより異なります。

急速充電器（スタンド）・V2H 機器の取り扱い方法に従って、作業を行ってください。

取りはずした急速充電コネクターは、もとの位置にもどしてください。

3 急速充電リッドを閉める

 **注意**

■ **急速充電・V2H 充電／V2H 給電後の注意**

急速充電インレットから急速充電コネクターを取りはずしたあとは、必ず急速充電リッドを閉めてください。

タイマー充電機能を使う

タイマー設定でできること

充電スケジュールの登録時には、次の各機能の設定が可能です。

■ 充電モードの選択

次の 2 種類から充電モードを選択できます。

▶ 開始

設定した時刻 ※ に普通充電が開始され、満充電になると充電が終了します。

▶ 開始終了

設定した開始時刻と終了時刻に従って普通充電を実施します。※

※ 駆動用電池の状態により、普通充電が開始される時刻に誤差が生じる場合があります。

■ 繰り返し設定

ご希望の曜日を選択することで、繰り返しタイマー充電が行われるように設定できます。タイマー充電を実施したい曜日を 1 つ以上選択してください。

■ 今すぐ充電の ON / OFF

充電スケジュールの登録内容を変更することなく充電を行いたいときは、“今すぐ充電”を ON にすることで、充電スケジュールが一時的に無効になり、普通充電コネクタ接続後、普通充電を開始することができます。

充電スケジュールが登録されており、かつ今すぐ充電が ON の時に普通充電コネクタを取り外した場合、今すぐ充電が OFF になります。

■ 次回充電予定

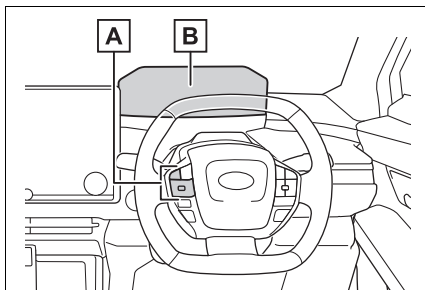
登録済みの充電スケジュールのうち、現在時刻以降で最も近い充電スケジュールを“次回充電予定”と呼びます。

タイマー充電は、次回充電予定に従い、普通充電を実施します。

マルチインフォメーションディスプレイでの設定操作

充電スケジュール操作を行うときは、メーター操作スイッチを使用します。

- A** メーター操作スイッチ
- B** マルチインフォメーションディスプレイ



■ “今すぐ充電” を ON するには

1 パワースイッチを OFF にする

マルチインフォメーションディスプレイにエンディング画面が表示されます。(タイマー充電の待機中にドアを開けた場合にも、同様の画面が表示されます。)

2 OK を押して、“今すぐ充電” を ON にする

OK を押すたびに “今すぐ充電” の ON・OFF が切りかわります。

設定の終了後、車両に普通充電コネクタを接続すると、普通充電が開始されます。上記の方法でも “今すぐ充電” を ON にできないときは、充電インジケータが通常の速さで点滅しているあいだに、接続した普通充電コネクタを取りはずして、すぐに接続し直すと “今すぐ充電” が ON になります。

また、この操作をすると、充電電流と充電量上限の設定が一時的に初期設定になります。

マルチメディア画面での設定操作

マルチメディアの詳しい操作方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

タイマー充電に関する設定操作は、充電スケジュール画面上で行います。

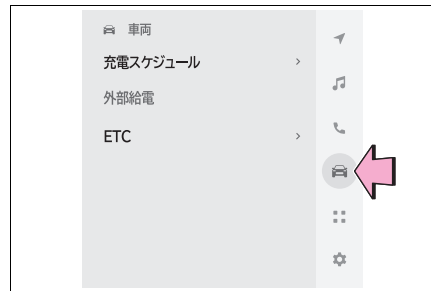
■ “充電スケジュール” 画面を表示するには

- 1 パワースイッチを ON にしてメニュー画面を表示する

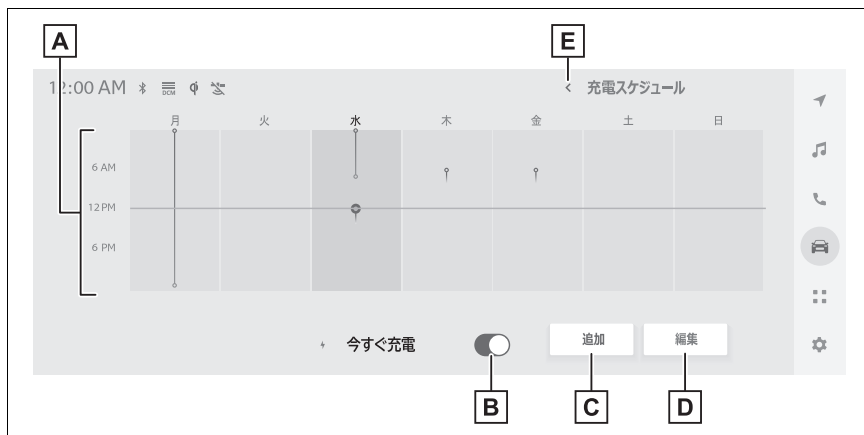
※ アクセサリーモードでは充電スケジュールの設定操作を行うことはできません。

- 2 マルチメディア画面の  にタッチし、“充電スケジュール” にタッチする

“充電スケジュール” 画面が表示されます。



■ “充電スケジュール” 画面の見方

**A** 充電スケジュール

1 週間の範囲で、登録済みの充電スケジュールが連続する線の形で一覧表示されます。

B “今すぐ充電” ボタン

タッチすると“今すぐ充電”が ON になります。

C 追加ボタン

充電スケジュールを新規登録するときにタッチします。

D 編集ボタン

登録済みの充電スケジュールの内容を変更・削除したいときにタッチします。

E もどるボタン

タッチすると、“充電スケジュール”画面が終了します。

■ 充電スケジュールを登録するには

- 1 “充電スケジュール” 画面を表示する
- 2 “追加” にタッチする

“タイマー設定を追加” 画面が表示されます。

- 3 充電モードを選択する

“開始設定” または “開始／終了設定” にタッチします



- 4 画面を操作して、ご希望の時刻を設定する

充電モードが “開始設定” のときは普通充電を開始する時刻を、“開始／終了設定” のときは普通充電を開始および終了したい時刻を設定します。

- 5 繰り返し設定を有効にしたい曜日を選択し、“OK” にタッチする

複数の曜日に対して、繰り返し設定を ON にすることも可能です。

チェックボックスを選択するたびに、選択した曜日の繰り返し設定の ON・OFF が切りかわります。

- 6 すべての設定が終了したら、“保存” にタッチする

充電スケジュールが登録され、“充電スケジュール” 画面にアイコンが追加されます。

■ 充電スケジュールの ON・OFF を切りかえるには

- 1 “充電スケジュール” 画面を表示する
- 2 “編集” にタッチする

“タイマー設定リスト” 画面が表示されます。

- 3 表示されているリストの中から、ON・OFF を切りかえたい充電スケジュールのボタンにタッチする

ON・OFF を切りかえたい充電スケジュールが画面上に表示されていないときは、リスト表示を上下にスクロールして、対象の充電スケジュールを表示させます。



ボタンを選択するたびに充電スケジュールの ON・OFF が切りかわります。

■ 充電スケジュールの登録内容を変更するには

- 1 “充電スケジュール” 画面を表示する
- 2 “編集” にタッチする
“タイマー設定リスト” 画面が表示されます。

- 3 “タイマー設定リスト” 画面の“編集” にタッチする



- 4 画面に表示されているリストの中から、登録内容を変更したい充電スケジュールにタッチする

● 登録内容を変更するときは：

“充電スケジュールを登録するには” の手順 3 以降の操作要領で、ご希望の設定内容に変更する

設定を変更すると、“充電スケジュール” 画面のアイコンの表示もかわります。

● 登録内容を削除するときは：

“削除” にタッチする

削除を確認するメッセージが表示されます。

“削除” をタッチして、選択した充電スケジュールを削除します。

充電スケジュールを削除すると、スケジュール上のアイコンも削除されます。

■ “今すぐ充電” を ON にするには

1 “充電スケジュール” 画面を表示する

2 “今すぐ充電” ボタンにタッチする

ボタンを選択するたびに、“今すぐ充電” の ON・OFF が切りかわります。

設定の終了後、車両に普通充電コネクタを接続すると、普通充電が開始されます。

上記の方法でも“今すぐ充電” を ON にできないときは、充電インジケータが通常の速さで点滅しているあいだに、接続した普通充電コネクタを取りはずして、すぐに接続し直すと“今すぐ充電” が ON になります。

また、この操作をすると、充電電流と充電量上限の設定が一時的に初期設定になります。

■ 次回充電予定を表示するには

パワースイッチを OFF にする

設定された充電スケジュールに従って、次回充電予定が表示されます。※

- ※ メニュー内の“ACCカスタマイズ”のスイッチがOFFに設定されていないと、エンディング画面が表示されません。その場合は、マルチメディアの設定内容を確認してください。

“OK” ボタンにタッチした場合：
次回充電予定画面を閉じます。

“今すぐ充電” ボタンにタッチした場合：今すぐ充電が ON になります。



 知識**■ 充電スケジュールをすべて OFF にしたとき**

“充電スケジュール”画面上にアイコンは表示されません。

“タイマー設定リスト”画面で ON にすることで、アイコンが表示されます。

■ 充電スケジュール設定操作が中断される時

車両が次の状態になると、充電スケジュール設定操作が中断されます。

- 設定を確定する前にパワースイッチを操作したとき
- 車両が走行し始めたとき
- 充電スケジュール設定よりも優先度が高い画面が表示されたとき

■ 充電中に充電スケジュールを変更したとき

充電スケジュールを変更すると、次回充電予定が更新され、充電が停止することがあります。充電スケジュール変更後は、次回充電予定をご確認ください。

充電を継続したい場合は、“今すぐ充電”を ON にしてください。

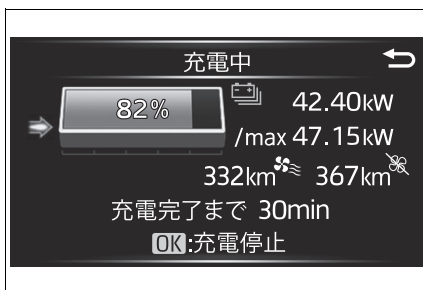
充電に関する情報を確認するには

車両のマルチインフォメーションディスプレイで、充電に関する各種の情報を確認できます。

■ 充電中は

充電中にパワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開けると、現在の充電状態と充電完了までに必要な時間の目安※ が一定時間表示されます。

駆動用バッテリーの残量や外気温、充電器（スタンド）の仕様、外部電源の供給電圧などの条件により、実際の充電時間とは異なることがあります。



充電電流が小さくなり、充電時間が長くなると、充電完了するまでの時間が表示されない場合があります。

※ V2H 充電中は、充電完了までに必要な時間の目安は表示されません。

■ 充電が終わったあとは

充電終了後、パワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開けると、充電結果についてのメッセージが一定時間表示されます。

また、充電停止となる操作をしたときや、充電できない状況が発生した場合などには、メッセージが表示されます。

普通充電ケーブルの点検・お手入れ

安全にお使いいただくために、日常的に次の事項を点検してください。

警告

■ 日常点検について

定期的に次のことを確認してください。

点検をしないで使い続けると、思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 普通充電ケーブルや電源プラグ・普通充電コネクタ・コントロールユニットに破損などがないこと
- コンセントに破損がないこと
- コンセントの差し込みがゆるくなっていないこと
- 充電中に電源プラグが極端に熱くならないこと
- 電源プラグの刃が変形していないこと
- 電源プラグにほこり等の汚れがないこと

電源プラグはコンセントから抜いて点検してください。また、点検の結果、普通充電ケーブルに異常が見つかった場合は、ただちに使用を中止して、SUBARU 販売店にご相談ください。

■ 普通充電ケーブルのお手入れについて

汚れたときは固くしぼった布で汚れをふき取ったあと、乾いた布でから拭きしてください。

なお、水洗いは絶対に行わないでください。普通充電ケーブルを水洗いすると、充電時に火災や感電事故が発生し、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 長期間普通充電ケーブルを使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、過熱や発火の原因となります。

また、普通充電ケーブルは水気がない場所で保管してください。

マイルームモードを使う

車両に充電ケーブルを接続した状態のとき、外部電源からの電力により、エアコンやオーディオなどの電装品を使用することができます。

マイルームモードを開始するには

1 車両に充電ケーブルを接続して充電を開始する

2 充電の実施中にパワースイッチを ON にする

マルチメディアにマイルームモードの設定画面が自動表示されます。

3 “はい” を選択する

マイルームモードが開始され、車内でエアコンやオーディオなどが利用可能になります。

マイルームモードを使用しないときは、“いいえ” を選択します。

マイルームモードを停止するときは、パワースイッチを OFF にします。

急速充電が完了すると、マイルームモードは自動的に停止します。

知識

■マイルームモードの使用中は

次のようなことが起こる場合があります。

● 駆動用電池の残量が下限に達すると、マイルームモードが自動的に停止する

その場合は、駆動用電池の残量が増えるまでエアコンなどを操作できなくなります。いったんパワースイッチを OFF にし、駆動用電池の残量が回復したあとで、マイルームモードを使用してください。

● 駆動用電池の充電時間が長くなる

● 電波の状況によっては、ラジオに雑音が入る

● 普通充電中・充電完了後は、車載充電器が搭載されているモータールーム周辺が温かくなることがあります。

● パワーステアリング警告灯（黄色）が点灯することがありますが、異常ではありません。

● 普通充電時はマイルームモードを維持するために満充電終了しないよう充電量を制御をしています。

知っておいていただきたいこと

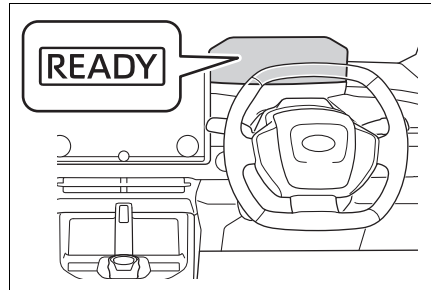
知っておいていただきたいこと

電気自動車は、一般的なエンジン車とくらべて次のような特徴があります。あらかじめ、これらの特性についてご理解ください。

■ READY インジケーターについて

READY インジケーターが点灯しているとき、走行が可能です。

EV システムの始動操作後、しばらくのあいだメーター内のREADYインジケーターが点滅します。点灯にかわるまでお待ちください。



■ 回生ブレーキについて

アクセルペダルから足を離したときやブレーキペダルを踏んだときに、モーターを発電機として作用させることで、運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池に回収する機能です。

駆動用電池の状態によっては、回収される電気エネルギー量が変化することがあります。

こんなときは

この車の使用中、次のような現象が起きることがありますが、異常ではありません。

■ 電気自動車特有の音と振動について

電気自動車は READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のようにエンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時は確実にパーキングブレーキをかけて、シフトポジションをPにしてください。

EV システム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

- 運転席のドアが開いたときに車両の前方から聞こえるブレーキシステムの操作音
- モータールームもしくはラゲージルームからのモーター音
- EV システム始動時および停止時に車両モータールームから聞こえるリレーの音
- 次のような場合は、“コトン”、“カチッ”などのリレー作動音が駆動用電池から聞こえます。
 - ・ EV システムが始動または停止したとき
 - ・ 充電が開始または終了するとき
 - ・ 急速充電を使用して駆動用電池を充電した後、初めて車両を運転するとき
- ブレーキペダルを踏んだときや、アクセルペダルをゆるめたときに聞こえる作動音
- ラジエーターから聞こえる冷却ファンの作動音
- エアコンシステム（エアコンコンプレッサー、送風機モーターなど）の作動音

ご注意くださいこと

この車を使用するにあたって、特に注意していただきたい事項をまとめてあります。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 充電について

充電のしかたについては本書の2章を参照して正しい手順で行ってください。

より詳しい説明や注意事項については、車両の取扱説明書を参照してください。

■ 高電圧・高温について

この車には、駆動用電池などの高電圧部位や、高電圧の配線（オレンジ色）をはじめ、電気モーター・冷却用ラジエーターなど、高温になる部位があります。絶対にこれらの部位にふれたり、分解したりしないでください。

■ 走行中は

走行中や低速走行時は、歩行者や付近の人に注意してください。一般的な自動車のようにエンジン音がしないため、歩行者や付近の人が車両の接近に気付かないおそれがあります。車両接近通報装置が作動していても、周囲の騒音等が大きい場合は、車両の接近に気付かないおそれがありますので、十分注意して運転して下さい。

■ メンテナンスについて

車検・点検をする場合は、必ず SUBARU 販売店にご相談ください。

- 高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、感電など重大な障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車検・点検をする場合は、整備モードに切りかえる必要がありますので、SUBARU 販売店にご相談ください。
- 車両を廃車する場合は、SUBARU 販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご協力ください。

■ 補機バッテリーあがりなどのトラブルが発生したときは

車両の取扱説明書「万一の場合には」に記載されている内容に従って対処してください。

特に、けん引が必要になった場合や事故が発生した場合の処置などは、電気自動車特有の注意点があるため、車両の取扱説明書に記載されている注意事項を必ずお守りください。

**事故や故障などの緊急時は、
SUBARU 安心ほっとラインへご連絡ください。**

事故を起こしてしまった、タイヤがパンクした、バッテリーがあがってしまったなど、万一のトラブルの際に、専任のオペレーターが対応いたします。

SUBARU 安心ほっとライン  **0120-78-2215**
24時間365日受付

**ご意見、ご相談は、SUBARU 販売店・特約店または、
SUBARU お客様センター（SUBARU コール）へお問い合わせください。**

お問い合わせの際は、下記の情報を事前にご用意いただきますと円滑な対応が可能です。
車検証の情報（車台番号・登録番号・登録年月日）や車種名・グレード・走行距離・販売店名

SUBARU お客様センター

SUBARU コール  **0120-052215**

受付時間 【平 日】 9:00～17:00
【土日祝】 9:00～12:00、13:00～17:00

SUBARU お客様センターでは下記の内容を承っております。

- (1) ご意見/ご感想
- (2) ご案内 (カタログ、販売店、転居手続き 他)
- (3) お問い合わせ/ご相談

- ・内容確認と SUBARU のサービス・品質向上のために録音させていただいております。あらかじめご了承ください。
- ・故障や修理、純正部品に関するお問い合わせはご購入いただいた店舗、またはお近くの SUBARU 販売店へご連絡ください。

株式会社 SUBARU における個人情報の取扱いについては、
SUBARU オフィシャル Web サイト（https://www.subaru.jp/privacy_policy/）に記載しております。

禁複製・転載

編集・発行 **株式会社 SUBARU**



株式会社 SUBARU